

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

港湾空港ニュース香川

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2013

6

月号

<No.181>

CONTENTS

- 浚渫工事開始
- 沿岸部の液状化を考える講演会
- 出前講座を開催
- 高松港保安対策総合訓練開催
- 高松空港 国際線ターミナルの増築が完了



国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所



今年6月末で引退する客船「ふじ丸」サンポート高松に最後の寄港
地元園児による歓迎の鼓笛演奏(5月30日)

力強い成長に向けて

平成二十五年も折返し時期となりました。この半年の経済状況を見ると、現在少し揺り戻しはあるものの年初のドル八〇円から現在では一〇〇円前後を推移し、株価も年初の一万円割れから現在では一万三千円前後まで上がっています。国際的に景気回復のめぼしい材料がない中ですので、金融緩和が大きく効いているものと思います。いくつかの国では我が国との輸出品の競合などから円安への不満が伝えられていますが、デフレ脱却のための金融緩和であり為替操作を行っていない訳ではなく文句を言われる筋合いはありません。

機能素材など高度な技術を要する分野は日米欧の企業で独占され、中には日本企業で一〇〇%市場を占めているものさえあります。これまでアジアとの貿易が増えたのはアジアの企業が日本から資本財や工業用原料を買って組立て欧米へ売る、いわゆる迂回輸出によるものであり、このような高度な技術を持つ製造業こそ我が国経済の力の源泉です。

では、我が国の輸出の状況はどうかというと、リーマンショック前までは輸出は毎年伸び八〇億円まで達しましたが、リーマンで一気に落ちた後五〇〇七〇億円に推移しています。そして、輸出品の大半は実は資本財と工業用原料で八割近くを占める一方、一見日本の企業が世界の市場で競争しているような家庭用電気機器や乗用車などの耐久消費財は一五%程度に過ぎません。ものづくり白書によると、産業用機械や高

我が国は、部品から加工機械から最終製品まで製造できる層の厚い製造業があり、今、円安株高の追い風を受けて競争を強化できる環境になり、雇用の改善が期待できます。製造業の海外移転を留まらせ国内企業の競争力を強化するためには、円安環境下で上昇しやすいエネルギー価格や運賃を押さえることが重要です。

当事務所は、高松港や備讃瀬戸航路の整備などを通じて香川県を含む瀬戸内海中央部の企業の競争力強化と雇用の確保に貢献して参ります。

高松港湾・空港整備事務所長

久米 英輝



浚渫工事開始

■高松港朝日地区

本事務所では平成二十三年度まで高松港朝日地区国際物流ターミナル（R3）暫定供用に向けて岸壁の整備を実施しておりましたが、今年度より岸壁前面の泊地と航路の浚渫工事を開始しました。

浚渫工法は、グラブバケットと呼ばれる大きな箱をクレーンで水中に降ろして船上からワイヤーなどの操作で、土砂をつかんで土砂を運搬する船に積み込む方法を採用しています。



多くの船が往き来している中での工事になりま
すので、他の船と連絡を
取り協力して頂きながら
安全第一で工事を進め
ています。（保全課 宮地）

▶ 浚渫工事の状況



■備讃瀬戸航路

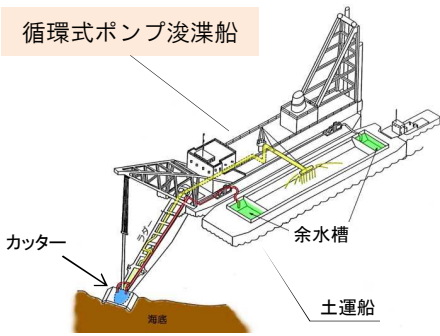
平成二十五年七月から浅所が確認されている備讃瀬戸北航路の維持、浚渫工事に着手します。

浚渫にあたっては、美しい瀬戸内海の環境を守るために、循環式ポンプ浚渫船という専用に改造した浚渫船を用い、海水を循環させることにより、濁りの発生を極力抑えています。

浚渫期間中、工事区域は、一般船舶の航行が禁止されますので、同海域を航行する船舶は十分注意して航行されるようにご協力をお願いします。（航路管理課 範囲）

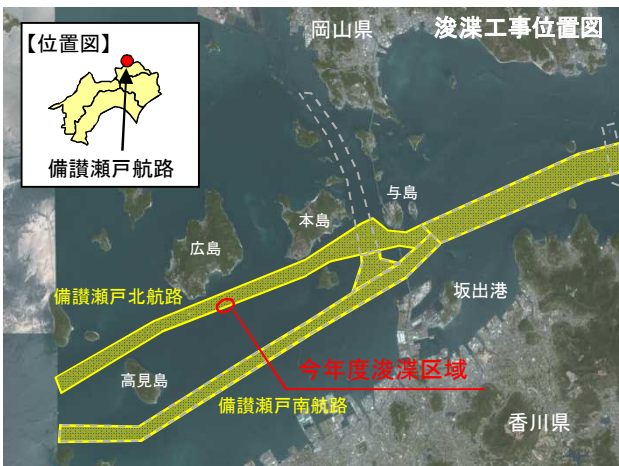
■事務所ホームページに浚渫工事のお知らせを掲載しております。
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

循環式ポンプ浚渫船



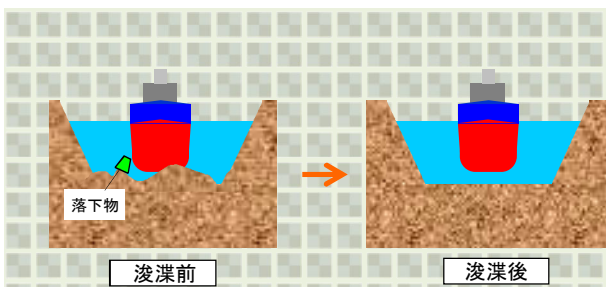
循環式ポンプ浚渫の流れ

- ① カッターで海底土砂を掘削する。
- ② 掘削した土砂と海水をポンプで一緒に吸い上げ土運船（土砂を運搬する船）に排出する。
- ③ 土運船で土砂と海水を分離する。海水は土運船に設けた余水槽に分離される。
- ④ 余水槽に分離した余分な海水を循環式のポンプで海底に戻すことにより、土運船から濁りがあふれ出すのを防ぎます。



航路の維持管理とは

船が安全に航行するためには、陸上の道路と同様に、常に対象となる船舶の大きさに応じた航路幅・水深を確保しておかなければなりません。そのためには、日常的な維持管理が必要であり、定期的に航路の状況を確認（巡回や水深測量）しています。砂の堆積や沈降物等により航路幅・水深の不足が見つかった場合は、水深を深くするための工事（浚渫や障害物の撤去）を行います。



砂の堆積、落下物等による障害が解消され船舶が安全に航行できるようになる

沿岸部の液状化を考える講演会

四月二十一日(日)に、香川県坂出市において、「沿岸部の液状化を考える講演会」を開催致しました。

本講演は、瀬戸内沿岸が古くから大規模な埋立が繰り返された地域であり、液状化の発生が危惧されることから、実際の液状化被害を正しく知ることにより、東南海・南海地震等が発生した際の被害に備えることを目的として開催したものです。

浦安市の石井副市長による「液状化被害の状況と復旧・復興について」の講演では、東日本大震災の地震発生時に、泥水が噴き出し道路が泥で覆われ、下水道マンホールが浮き上がっている衝撃的な動画等を活用した甚大な被害の状況が示され、液状化被害の深刻さが実感出来ました。また、震災後の対応では、携帯トイレを活用し凝固剤で可燃物化してのし尿回収仮設トイレの段差対策やプライバシー確保、水管復旧時の耐震対策の

工夫、土地の境界確認の難しさ等、実際の現場での経験に基づく貴重な話を伺えました。



▲講演の様子

徳島大学大学院の渦岡教授による「液状化の予測と対策」の講演では、東日本大震災や過去の大きな液状化被害事例に基づく、地面の移動やマンホールの浮き上がりなど被災パターンの違いや、簡易な広域的液状化予測方法、構造物の変形量まで予測できる詳細な方法等について、最新の知見に基づく説明があり技術的な知識を得ることが出来ました。

今回の講演会は地元企業や行政関係者、一般参加者等約三七〇名の参加があり、液状化被害に対する関心の高さを感じました。

講演終了後のアンケートでは、約九割以上の参加者が、液状化対策の必要性を感じており、生々しい動画を交えた浦安市の被害状況を目の当たりにして、液状化の怖さ、対策の重要性を再認識した等の感想が寄せられました。

(企画調整課 山下)



▲満席となった会場

■事務所ホームページに講演会資料を掲載しております。

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

高松港保安対策総合訓練開催



六月十三日(木)高松港サンポート地区において国や県の十三の関係機関で組織する高松港保安委員会により、テロ対策の強化に向けた保安対策総合訓練を実施しました。

当日は好天に恵まれた中、当事務所を含む国の港湾機関や香川県港湾関係者、海上保安部、県警、消防、港湾利用者などから約九十人が参加し、テロリストが入港中の旅客船に逃げ込んだとの想定で訓練が始まり、海上保安庁による客船の乗組員の救出、海上へ逃走したテロリストの追跡及び確保、消防などによる火災が発生した旅客船への放水、県警機動隊による船内から陸上に逃走したテロリストの確保や爆発物処理などを実施しました。

訓練では、関係機関の船舶・航空機や爆発物処理の特殊車両を使用して様々な想定の内容に迅速に対応するとともに、関係機関の連携体制の確認を行うことができ、今後保安委員会では、いつ発生するかわからない万一の事態に備えていく予定です。

(沿岸防災対策室 山崎)



▲爆発物処理班による爆発物処理の様子



▲海上に逃走したテロリスト追跡の様子



▲訓練開始時の保安委員長による挨拶

高松空港 国際線ターミナルの増築が完了



高松空港ビル株式会社により進められていた、国際線ターミナルの増築が三月十五日に完了致しました。

増築に伴うチェックインカウンターや待合室の大幅拡張と併せて、ユニバーサルデザインを随所に取り入れ、これまでは国内線側にしかなかったエスカレーターとエレベーターが設置されるなど、国際線ターミナルの利便性が大きく向上しました。



▲春秋航空のチェックインカウンターの様子

航の上海便に加え、今年三月二十一日からは四国初となる台北便も就航し、今後の発展が期待されます。(企画調整課 石本)

「出前講座」を開催



五月二十九日(水)「出前講座」を開催しました。出前講座では新番丁小学校の五年生を対象に、海に浮遊するごみや油を回収する、海面清掃兼油回収船「美讚」の業務を通して、海の環境を守ることの大切さについてお話ししました。

みなさん真剣にメモを取り、質疑応答では次から次に手が挙がり、たくさん質問があり、海をきれいにするということについての関心の高さを感じました。

(企画調整課 池畑)

★出前講座に登場した「美讚」の一般公開を行います。詳細はイベント情報をご覧ください。



▲「美讚」の業務説明の様子

▼質疑応答で出た質問を紹介
Q.「美讚」の名前の由来はなんですか？



A. 一般公募により、美しい備讃瀬戸を守るという意味を込め、命名されました。

イベント情報

リフレッシュ瀬戸内

—ボランティアによる海岸清掃活動—



【日時】7月6日(土) 8:00~2時間程度
(少雨決行:ただし荒天時は中止)
【場所】坂出市沙弥ナカンダ浜~大屋富海岸
【内容】海岸の清掃
【問い合わせ先】
坂出市総務部政策課政策調整係
TEL: 0877-44-5001



※上記以外にも各地の海岸等で清掃活動を行っております。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

海面清掃兼油回収船

「美讚」一般公開

【日時】7月21日(日) 10:30~15:00
【場所】高松港サンポート
【内容】浮遊ごみや浮遊油を回収する「美讚」を一般公開します。
・船内見学(操舵室、作業甲板)
・パネル展示
・船員服試着&写真撮影 など
【問い合わせ先】
高松港湾・空港整備事務所 企画調整課
TEL:087-851-5524



●高松港湾・空港整備事務所

〒760-0011
高松市浜ノ町72番9号
TEL087-851-5522
FAX087-826-1210

●坂出港分室

〒762-0002
坂出市入船町1-5-26
TEL0877-46-0311
FAX0877-45-4689



国土交通省・四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください♪
皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル

おーいによくなれみなど
0120-497-370

受付時間* : 9:30~12:00と13:00~17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く) *一部の地域を除きます。

